

9/30 - 10/1  
10/11

# 定期大会三里塚集会に総決起しよう

## 日刊 動労千葉

82.9.29

No. 1157

### 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二九三五(六)八(巻)五三(二)七二〇七

## カレ回 支部代南がる(9/24)

今日の情勢はきりきり激烈である。82年はとりわけ「三里塚」と「国鉄」をめぐってすさまじい攻防の真只中にある。このような情勢の中、9月24日カレ回支部代表者会議が開催された。当面する57日ダイ改と検修合理化をめぐる大合理化攻撃に対決する態勢構築の場であるカレ回定期大会成功にむけて熱心な討論と意志統一を行った。

### 大会をめぐる情勢の特徴

今日、一九三〇年代を上回る世界的な大不況と帝国主義国向の経済対立と矛盾が噴出し、戦後世界体制が崩壊している。政府・自民党は自らの延命をかりて軍事大国化・憲法改悪にむけてなりふりかまらず大反動攻勢にうってでてきている。9月16日、鈴木内閣は「財政危機非常事態宣言」を発表し、失政のつけを労働者・人民に転嫁し、「公務員ペアの人事院勧告の凍結」をはじめとして一切の犠牲を労働者におしつけている。

続いて、24日、閣議が「今後における行政改革の具体化方策について」(行革大綱)を決定した事をうけて、国鉄当局は直ちに「緊急対策実施推進本部」(本部長・高木総裁)を設置し、緊急11項目の強行実施を開始している。更に、57日ダイ改、検修合理化、現協制度改悪等々国鉄労働運動解体攻撃を強めている。一方、こうした攻撃に動労本部「革マル反動分子は完全屈服し、「パルト」旅費返上の醜態を裏切りに典型的なように、臨調と国鉄当局の忠告を先女として向う国鉄労働者の決起を抑え、背後から襲うという反労働者的な本性を全面開花させ、全人民の憎しみの的となっている。

### 大会成功と10/1総決起を確認

三里塚現地において、政府空港公園は、「82年用地問題解決」83年二期着工のスケジュールが崩れかねない大破綻の危機に直面し、タイムリミットの前に焦りの最後のあかきを開始している。即ち、最

後のカレとして政府・公団は用地担当理事吉田巖の人数を使い、「水」で農民を恫喝懐柔し石井英祐をたきこんで、成田用水推進を策動し、公然と条件3「カレ同盟」づくり。反対同盟破壊攻撃にうって出てきている。こうした三里塚二期着工阻止にむけて正に決戦状況を迎えた重要時枝を狙って、またもや革マルが「反対同盟事務局長北原は警察のスパイだ」と根も葉もないデマをデマあげて、悪辣なデマ攻撃をくり返し、何とか反対同盟と動労千葉をはじめとする三里塚を向う陣営を傷つけ、解体しようとする心算で策動している。

カレ回支部代は、この革マルの卑劣な謀略デマ攻撃をうちく、だき二期決戦に勝利するため、カレ回大会の圧倒的成功と固く結合して10/1三里塚現地に組織の総力をあげて決起することを確認した。

### 本部革マルの破壊策動許すは

支部代は、各支部でねばり強く向われてきている既得権防衛闘争・57日ダイ改阻止闘争・検修合理化粉砕闘争の闘いを一層強めつつ、交渉と闘争の強化をもって断固たる反撃の体制を強めるべくカレ回大会の成功をかちとることを確認し、あわせて権力・当局の先兵「本部革マル反動分子の全取場からの一掃をかちとることを確認し大会の成功をめざして奮闘することを確認して終了した。

全ての組合員の皆さん！ 圧倒的傍聴で大会の成功をかちとろう。革マル反動分子の大会破壊策動を粉砕しよう。10/1三里塚に総決起しよう。  
於千葉グラウンドホテル  
9/30、10/1各日とも10時開始